

バスケットボール競技における独自の感染症対策について

バスケットボール専門委員長
厚別中 和田 圭吾

【0】はじめに

札幌市中学校体育連盟『選手権大会開催における新型コロナウイルス感染拡大防止に関するガイドライン 5月23日版』を十分に理解し、遵守することとする。さらに、バスケットボール競技の特性を踏まえ、『JBAバスケットボール事業・活動実施ガイドライン第5版(2022年5月12日版)』および全中が札幌開催ということも踏まえ『全国中学校体育大会実施上のCOVID-19感染拡大予防ガイドライン第5版(2022年4月1日版)』に基づき、専門委員会として独自のガイドラインを設定した。こちらのガイドラインも理解を深め、遵守すること。

感染症対策については、大会に参加する選手およびコーチングスタッフはもちろん、運営にあたる大会関係者の安全を確保するため、また選手が所属する学級や学年、選手の家族、そしてコーチングスタッフやその家族の安全を確保することも考えるべきである。より厳重に、より厳密に、最優先事項として捉えなければならない。大会参加に向け、再確認すること。特に、体調不良者の把握と不参加を徹底させること。

【1】バスケットボール競技における独自の対策ガイドライン

1. チーム健康状態の事前・事後の報告義務(別紙)

『選手権大会開催における新型コロナウイルス感染拡大防止に関するガイドライン5月23日版』
『JBAバスケットボール事業・活動実施ガイドライン第5版(2022年5月12日版)』
『全国中学校体育大会実施上のCOVID-19感染拡大予防ガイドライン第5版(2022年4月1日版)』
に基づき、総合的に判断する。報告内容によっては、チームに参加の自粛を勧告することもある。

2. 大会会場集合時の確認事項

- チーム責任者は、会場入口で、別紙1『監督、選手等の健康状態報告書』・別紙2『来場者体調管理記録表』を回収し、ひとりひとりのチェック項目および朝の体温を確認する。不備がある場合は、保護者への電話連絡等を行い、確実に対応する。チェックが完了後、『チームの健康状態把握表』を記入し、『チーム健康状態把握表』を上にして、大会本部に提出する。
- 全員の体温を、その場で検温する。37.0度以上の場合は、接触型体温計で、再度検温する。
- 審判等でどうしても対応できない場合は、会場責任者が代行する。
- 別紙3『健康管理表』は、選手(登録選手および登録外選手含む)・チームスタッフ・観戦保護者は、大会前後2週間分を記入し、各チーム責任者に提出する。
- 別紙4『行動履歴書』は、選手(登録選手および登録外選手含む)・チームスタッフ・観戦保護者は、大会前後2週間分を記入し、各自で保管する。感染の疑いが出た場合は、この履歴書の提出を求められることがある。

3. マスク着用について

熱中症対策を優先としつつも、原則マスク着用となる。以下の表で場面を確認する。熱中症の危険がある場合は、選手の判断に任せるだけでなく、チーム責任者が指示を出し、熱中症防止に努めること。

場面	アップ前ミーティング	廊下等でのアップ	ハーフタイムのアップ	試合前のアップ	試合出場中 (オンザコート)	試合中 (ベンチ)
マスク着用	義務 ○	原則 △	原則 △	原則 △	なし ×	義務 ○

※試合中のベンチでは、息が整うまではマスクをせずに、離れたところで待機する。息が整い次第、マスクを着用し、ベンチに戻ることにする。

4. 無観客開催について

- 保護者の観戦は、登録選手につき1名の保護者を上限とする。人数を制限した上で観戦を認めることとする。

※ただし、保護者は試合開始10分前に入場し、試合後はすみやかに会場を出ること。また、別紙2『来場者体調管理記録表』は提出を義務とし、保護者の代表者が責任持って回収し、本部に提出すること。

- 1チームの参加人数は、選手25名（登録15名＋登録外10名）までとする。
ただし、3年生が25名からあふれてしまうケースについては、大会主催者に問い合わせること。
- 選手の体育館入場については、対戦チームとTOチームのみとし、他のチームは体育館での観戦を禁止する。
- 換気のために開いている非常口入口等に観戦者がいないよう周知徹底する。それでもそのような場合が起こったら、チーム責任者および会場責任者が声をかけ、誰もいない状況を作る。

5. 控室での過ごし方について

- 必要最低限の会話のみに抑え、接触の機会を極力減らすこと。
- マスクを必ず着用する。
- 常時換気をする。会場責任者は、換気ができ、ある程度広いスペースを控え場所にする。また、2チーム以上が同じ控室を使用することがないようにすること。（入れ替わりは可とする）
- 飲食する場合は、【黙食】【同じ方向を向く】【人数を分け最少人数で取る】ことを心がける。晴れている場合は、外で食事をすることを推奨する。

6. 会場離脱時の確認事項

- 使用したチームは、控え場所を整え、消毒を行う。
- 健康調査を行い、体調不良者がいないかを確認する。
- 試合終了後は、すみやかに会場を後にする。目安は30分以内。

7. その他の注意事項

- 受診時にかかる医療費および検査費、また陰性判定に活用する抗原検査キット等は自己負担とする。
- 感染拡大予防ガイドラインに関する問い合わせは、以下にお願いします。できる限りメールや校務支援メールでの問い合わせをお願いします。
- 問い合わせ等があれば、顧問を通じ、専門委員長に行う。対応が煩雑となるため、保護者が直接連絡することのないよう御理解とご協力をお願いしたい。